

たいよう

発行所
太洋基礎工業(株)
たいよう新聞委員会

最前線レポート

博労町ビル連絡通路撤去工事

工事場所 大阪市中央区 博労町地内

発注者 西日本電信電話(株)

工事概要

- ①試験掘り 七箇所
- ②覆土工事 七〇㎡
- ③薬液注入工 一六八・四kℓ
- ④親杭設置撤去工 H三五〇×H三五〇 L二九・〇m
- ⑤掘削工(親杭横矢板工法) G L一七・二m
- ⑥横矢板設置 一三四㎡
- ⑦吊り防護工 四箇所
- ⑧地下通路撤去工 六二・八㎡ (ワイヤーソー・コア抜き併用)
- ⑨舗装工 七〇㎡

施工検討会を開催しました。

- ①夜間騒音による周辺住民からの苦情が予想されるため、昼作業で出来る作業は昼に行う昼夜分担作業。
- ②歩行者・自転車は常時通行による車輛通行止め作業。
- ③インフラの損傷を防ぐ吊り防護方法(下水・水道・NTT・関西電力)
- ④インフラに影響を与えないような親杭の打設方法。(インフラ間が狭い為)
- ⑤G L一七・〇mまで親杭横矢板工法にて掘削する為、地山の自立確保。
- ⑥地下通路が古く、設置された時の資料が無い為、何が埋まっているか判らない状況。
- ⑦地下通路の撤去方法。(切断方法・回収方法)

本工事は、NTT博労町ビルの建物撤去に伴い、隣接するアーバンネット本町ビル間をつなぐ地下連絡通路(鉄筋コンクリート構造)を撤去する工事です。地下通路が横断する道路は市道が通っており幅員は約六・〇m、周囲の環境は大阪市内という点もあり、ビルやマンションによる密集地帯です。交通量、人の往来が非常に多い為、工事は夜間通行止めを併用する施工となりました。

施工を開始するにあたり、様々な問題点が考えられ、事前

声援

風薫るさわやかな季節となりました。全国の支店、営業所、出張所の職員並びに協力業者の皆様お疲れ様です。

二〇二四年四月一日より、一般企業に定められている「時間外労働の上限規制」が、五年の猶予期間が終了し建設業にも適用されました。建設業では時間外労働の上限規制は、二〇一八年に公布された働き方改革関連法に伴い、労働基準法が改正され設けられたもので、これまで「三六協定」はあるものの上限は青天井だった時間外労働に罰則付きで上限を設ける」という内容です。大企業では二〇一九年四月から、中小企業でも二〇二〇年四月から施行されています。

労働基準法では「一日八時間・一週間四〇時間」を上限とする法定労働時間が定められており、この枠を超えた残業は法定時間外労働にあたり、法定時間外労働は、三六協定を締結することで可能となりますが、今回の改正により、原則として「月四五時間・年間三六〇時間」までとなり、臨時的・特別な事情がない限りこれを超えることは難しくなりました。

弊社では、現場写真管理のフトマネージャー・楽々計算や勤怠管理のクロッシオン、TeamsやZoomでの会議など、積極的にICTを導入しました。月末書類や情報共有の簡略化、時間を有効利用することで、以前よりも作業効率が格段に向上致しました。また、紙面による社内書類が少なくなったことにより、出張先でも支店・営業所へ帰社することなく、スマホ・PC操作のみで完結する事が可能になりました。

こうしたICTの技術革新は、二〇二五年問題をかかえる建設業に於いて必要不可欠ではないでしょうか。皆様もご存じの通り二〇二五年には、建設業の労働人口が約九〇万人不足すると予測されています。そのため、建設業の人手不足を早期に解決することが重要です。ICTを活用して効率的な作業計画を促し、物理的な負担が大きい作業については機械化を進めることで、人の手による過重労働を減らす試みが拡大されることでしょう。さらに、働き方改革の環境として、テレワーク可能な業務の拡充も検討されています。

最後になりましたが、二月一日付で名古屋支店工事部副部長を拝命致しました。今後とも何かご指導を仰ぐ機会もあると存じますが、引き続きご指導・鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

名古屋支店 工事部
副部長 大家 拓也



以上の事を踏まえ新たに計画を立て本施工に着手しました。

補助地盤改良工が本施工に於ける最も重要な工種と私は考えていました。地山が崩壊し掘削床付け出来なければ地下通路の撤去はおろか、人災・周辺の建物・インフラへの影響等、大災害に繋がる可能性が大きいからです。今回撤去工事を行う上で地中にセメント・鉄系の材料は残置してはならないとの条件があったため、懸濁型の材料は使用できず溶液型での施工となりました。注入範囲・注入ポイント・注入率等、計画を立て協力業者さんとも密に打合せを行い、完了後の透水試験ではしっかりと注入効果を確認することができました。

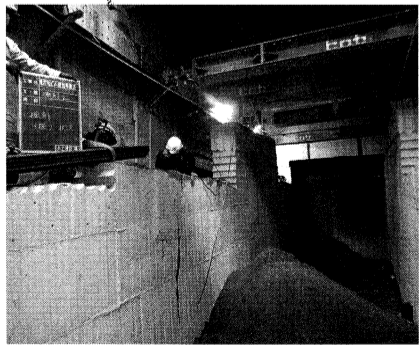
周囲への騒音対策の為、ブレイカーでの破碎は一切行わず、ワイヤーを高速で回転させることにより、コンクリート及び鉄筋を切断することが可能なワイヤーソーとコンクリートコアカッターの併用で撤去工事を進めました。個体の重量を考慮し、吊り上げ方法の計画・協議を行いました。スラブ部に於いては、一六tフラを使用することで夜間道路上の撤去作業が可能のため、作業半径より一個体あ

務に取り組んだ結果でもあり、そのおかげで家族と過ごす時間が増え、心身ともに充実した日々を過ごすことが出来るようになり、より一層、業務にも集中して取り組む事が出来るようになります。

結果掘削時の地山の崩壊・湧水は無くスムーズに掘削土留めを行えた事で、地下通路撤去でもトラブルが無く進めることができました。また、問題視されていた親杭引抜も、ワイヤークシオンカッターの効果で引抜き荷重も計画以下に抑えることができました。

私が携わってきた数多くの現場の中で、かなり上位に入る難しい現場であり、非常に得たものが大きい現場でした。そんな現場を無事故で完工する事が出来たのは、すべての協議や周辺対策等に全力を注いで頂いた元請様と、精一杯仕事を進めてくれた協力業者様のおかげです。紙面を借りて御礼申し上げます。

大阪支店 工事部
係長 大元 健司



入社式・研修会

爽やかな春風が吹く中、令和六年度入社式が四月一日(月)に行われました。新たに四名新卒者三名と第二新卒者一名の仲間が加わりました。その後、新入社員研修を四月一日(月)から一二日(金)の二週間のプログラムで実施いたしました。

お忙しいところご対応いただき、ありがとうございました。名古屋支店職員の皆様、現場入場にご協力いただいた元請様、協力会社様。また外部講師として明治安田生命保険様、三井住友海上火災保険様、みずほ証券様など多くの方にご協力頂きました。紙面をお借りして御礼申し上げます。

新入社員紹介



皆様初めまして。この度、総務部に配属となりました上村竜輝と申します。専門学校では簿記を勉強しておりました。趣味は車とバイクと小学六年生からやっているエレキギターです。今でも月に一度か二度友人と集まってバンド練習をしています。

四月一日に行われた入社式は、三月からアルバイトとして働いていたこともあり、緊張はせずリラックスをして式に望むことが出来ました。

新入生研修四日目、五日目はビジネスマナー、安全衛生講習がありました。ビジネスマナー講習では、名刺の渡し方や電話応対の方法など、社会人に必要な知識を学び、まだまだ私は未熟で覚えなくてはならないことが沢山あることを知りました。

管理本部 総務部 小崎 賢

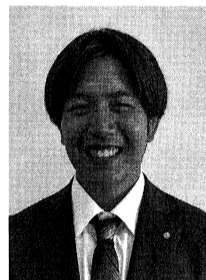


安全衛生講習では、実際に起きた事故や安全用品の扱い方を教わり、KYの大切さを知りました。七日目は調査部のボーリング調査を見学しました。どんな建物を建てる際にも必ず行われる作業であり、どれだけボーリング調査が重要なかを実感しました。八日目は、レベル・

トランシットの測量研修でした。何度チャレンジしても水平を取るのに時間がかかり、現場で働く方たちの凄さが分かりました。研修最終日には、車両運転研修として自ら社用車を運転し、神守研究開発センターに行きました。土屋常務の講話やセンター内の機材、作業の見学をしました。

二週間の研修で大変多くのことを学ばせていただきました。また、同期との親交を深める機会となりました。まだまだ覚えることが多く毎日大変ですが、早く一人前の社会人になるために努力いたしますので、よろしくお願いたします。

総務部 上村 竜輝



皆様初めまして。この度、長野支店工事事務部に配属となりました大橋輝と申します。

私は中途採用で一月に入社しました。土木業界は全くの無知で、現場では知らない言葉、道具の名前、考え方が飛び交い日々周りについていくことで一杯でした。しかしながら、職員、元請、協力業者の方々が大変良く面倒を見てくださり、分からないながらも伸び伸びと仕事に励むことが出来ました。この半年で関わった方々は皆、真摯に仕事に取り組まれており、かつ、人柄の良い人ばかりで、

安全で皆さんが働きやすいと思える雰囲気の良い現場が作れるよう、一日一日を大事にし、これからの日々を過ごしていく所存です。宜しくお願致します。

四月一日より開催していただいた研修会では、座学、現場研修により当社で取り扱っている、

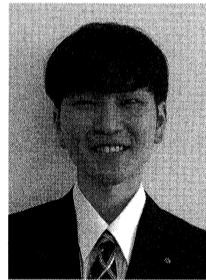
長野支店 工事事務部 大橋 輝



皆様初めまして。この度、九州支店工事事務部に配属になりました國廣文也と申します。

四月一日に入社式が行われ、加藤社長をはじめ役員の方々より激励の言葉をいただき、改めて自分がこの会社の一員になり業務に励んでいくのだという実感がわきました。そのような期待と不安の入り混じった入社式から始まった新入社員研修で、

多くの方より社会人としての基礎を教えてくださいました。一週目では、加藤社長からの太平洋基礎工業という会社の変遷、会社や土木業界の今後の展望、経営理念に込めた想いのお話から始まり、常務の方々の講話で仕事に対する考え方、安全法令に関することを教わりました。改めて行っている工法や工種を詳しく教えていただくことで、より会社への理解を深めることができました。安全法令では危険予知活動や扱う器具、重機の使用に関する法令を教わりました。しかし、全てしっかり理解できなければいけないので日々の業務をこなしつつ覚えていきたいです。



皆様初めまして。この度名古屋支店工事事務部に配属しました。辻川岳登と申します。

四月一日に入社式を本社で行い、加藤社長をはじめ役員の方々から激励の言葉を貰い、自分も今日から社会人という実感を覚えました。土木の知識が無く、とても不安ですが一日でも早く会社の力になれるよう一生懸命頑張ります。

二週間の研修期間があり、一週目では安全法令、マナー研修、安衛教育を学びました。安全法令では土木の現場を知るにあたって、どのような工法があるのか、何が危険になるのかなど事故を起こさない為に必要なことを学びました。マナー研修では名刺交換の仕方、言葉遣いなど社会人としての基本を学びました。安衛教育では安全、衛生の目的とは何かを教えてくださいました。KY活動の重要性を知りより一

層安全に対する気持ちが深まりました。二週目の初日は土質地質学を学びました。建物を建てる際に必要な地盤や地盤の強度や特性を知るボーリング調査、柱状図の読み方を学ぶことができました。二日目はボーリング調査、地盤の柱状改良の現場を、実際に見学させて頂きました。地盤の中の仕組みや、建物を建てる際に地盤がいかに重要なかを再確認することができました。三日目はレベル、トランシットの使い方、測量釘の打ち込みを公道で実測しました。実際にレベル、トランシットを据えてみると、とても難しく時間が掛かってしまいました。現場では使う機会がとて多いため、早く使いこなせるようになりたいです。四日目は工事事務部・建築事業部の現場見学を行いました。工事事務部ではPJG-Iの現場を見学させていただきました。工事の規模の大きさにとても驚きました。建築事業部ではマンシオンが建つ前の貴重な現場を見ることができました。研修最終日には、神守研究開発センターに訪問させて頂きました。実際に現場で

また労働基準協会の方よりビジネスマナー、安全衛生を学びました。ビジネスマナー研修では学生時には使うことのなかった多数のマナーを知れたので活用していきたいです。安全衛生教育では危険予知活動などに加え、工事故の悲惨さを学びました。

二週目ではこれまで紹介されてきた工法の現場や神守研究センターの見学、土質地質学の学習、測量の体験などをさせていただきました。ボーリング調査やSATコラム工法の現場見学や、測量の実技を行うことで以前学んだ内容と合わせてより深い理解をすることができました。

九州支店 工事事務部 國廣 文也

使用されている重機や海外事業についてのお話を聞くことができました。

二週間の研修期間を得て、とにかく初めての事ばかりでした。まだまだ分からないことが沢山ありますが、これから一生懸命頑張っていくのでよろしくお願致します。

名古屋支店 工事事務部 辻川 岳登

人事異動のお知らせ

二〇二四年六月一日付けで従業員の人事異動が発令されました。お知らせいたします。

- ・米村 健 新役職 大阪支店 副支店長
- 兼 環境開発部統括部長
- 旧役職 技術本部 環境開発統括部長

2024年4月号 記事内容訂正について

先月掲載しました「高吸水性ポリマーを用いた高圧噴射攪拌工法「ハイプラスチックジェット®」を開発」にて掲載内容に誤りがございましたので訂正いたします。

誤 高吸水性ポリマー水噴射の平均流速は噴射距離二〇cm…三七五m/s

正 高吸水性ポリマー水噴射の平均流速は噴射距離五〇cm…三七五m/s

たいよう新聞編集委員会